

泰らぎ

Vol.59
2022年
新年号



～病院外観～ 今年もよろしくお願いいたします



温故会
直方中村病院

<http://www.onkokai.jp/nakamura/>
編集・発行 直方中村病院広報委員会



- P1 表紙・目次
- P2 【新年の挨拶】 ～中村理事長より～
【活動のご紹介】
・ 歩こう会 ～精神科急性期治療病棟より～
- P3 【活動のご紹介】
・ クリスマス会
～精神療養病棟より～
～認知症治療病棟より～
- P4 【研修の報告】
・ 誤嚥性肺炎の研修

新年の挨拶 ～中村理事長より～

令和4年を迎えました。皆様には、すこやかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、とうとう3年目に入りました。

この2年間、そして年末年始も、新型コロナウイルス感染症に対し感染症専門医療現場でご尽力頂いています、医療従事者の皆様に、心から敬意と感謝を申し上げます。また、当院において発生することなく無事に新年を迎えられましたのも、ご利用の皆様のご協力、当院の感染対策委員会指導の下、感染防止に努めてきた職員に厚く御礼申し上げます。



昨年秋から年末にかけては以前よりも、感染者数が減った状態が長く続きました。年が明けると、やはり人の動きによって感染者は再拡大し始めました。ここに一般の方々と、医療従事者の日常の生活様式、感染症に関する意識に大きな開きがあることを感じます。今一度、基本的な感染予防をしっかりと守りましょう。ここに来るまで医療従事者の皆様には、限界まで新型コロナ感染症と闘ってこられていますが、ワクチン接種後の感染の様子を見てもその効果は大きく思えます。もうひと頑張りのご協力をお願い申し上げます。

私共の務めは、新型コロナウイルス感染症防止に留まらず、様々な感染症・疾病から人々の生命と健康を守る。そのためには環境と体制を整えておくこと。その上で人々の通常の暮らしを取り戻し、平穏な社会を回復していくことと心得ます。本年が、私達医療従事者にとって、全ての人々にとって、充実した希望あふれる一年となりますことをお祈り申し上げます。

活動のご紹介

【歩こう会】～急性期治療棟より～

コロナの感染が落ち着いてきた 10月・11月に久しぶりの歩こう会を実施することができました！

今回は11月の様子をご紹介します。今回はお二人の参加で八幡神社まで歩きました o(^▽^)

この日は天気も快晴に恵まれて散策日和となり、散る前のいちじょうの黄色の葉を見る事が出来ました (*´▽`*)

皆さん休憩もいりませんと休みなく、元気に歩を進め……

八幡神社に到着！記念に揃って写真撮影、(´▽`)ノ社の前で皆さんそれぞれの思いを祈願成就(´^`)ノ帰り道も空が綺麗で、皆さん疲れも感じず元気に歩き、無事帰院♪(o・ω・)ノ))

来年も綺麗な紅葉が見られることを祈っています (*≧U≦)



活動のご紹介



【クリスマス会の報告】

～精神療養病棟より～



令和3年度も無事にクリスマス会を行う事が出来ました、本当に良かったです。

OTスタッフ主催で、チーム戦。ゲーム三昧で、各チームで

話し合い、代表者選出👏賞品ゲットです、頑張ってー👏👏👏👏

まずは、ビリヤード🎱

わー👏カッコいい、応援も力が入ります🎵次はプレゼント交換💕回して、回して

...



きゃーハズレ😅でも、みんな楽しい、大笑い😄

1病棟も2病棟も、スタッフも笑って、応援して、

がっかりして、楽しい1日でした。みんな、ピース👌

令和4年も、色々有りませうが、患者様もスタッフも、

現状維持目標👏日々ささやかでも楽しみや生きがいがあると良いな、と思います。



活動のご紹介



【クリスマスの報告】

～認知症治療病棟より～



令和3年12月14日

生活機能訓練室にて 少々早めのクリスマス会を開催いたしました。



午前中 くじびきでプレゼント。

午後は ケーキとジュースで茶話会です。

患者様へのプレゼントは、

みんなが必要で役立つものを考え

タオルともこも靴下にしました。

二種類のくじはサンタクロスとトナカイのくじです。患者様に金糸、銀糸の紐をひいてもらいます。

くじを引く順番も年功序列ということで、一番にひいたのは93歳の女性です。

まだまだ 口も達者、食思良好、開口、嚥下良好。お元気でなにより((笑)

患者様の中にはプレゼントを渡すと泣いてしまう方もいらしてじーんとしていたり、くじがかわいくて持ち帰ろうとされたり。普段無表情の方が、笑顔や感動の涙を見せる姿を見て、忙しい中でも本当にやってよかったと感じました。



研修の報告

【誤嚥性肺炎の研修】

会議室にて誤嚥性肺炎について外来高木師長より講義がありました。講義の内容は誤嚥性肺炎という病名から誤嚥の原因、症状、予防、口腔ケアの大切さ、食事介助の仕方等。



高齢の患者様等は本人の訴えもない事から看介護を行うものの観察力、早めの対応、情報共有の必要性が必要な事 等です。

一番 大切な事は

**自分だったらどうしてほしいか、
自分の家族だったら…と考える事が必要。
相手は人であり、自分たちの対応で反応が変わる。
流れ作業ではなく 思いやりをもって接すること。**



いつも患者様に食事介助、口腔ケアは行ってはいますが 忙しさや時間に追われ流れ作業的になっていた事を反省する講義でした。

講義後の感想をスタッフに聞きました。

「講義を受けて自分の看護はこれでいいのかと胸が締め付けられました」。

「しっかり振り返りが出来て 時間に追われて大変だけど

基本 患者様の気持ちを考えての看護をしたいと思いました」。

「そういう看護ができる環境にもして欲しいとも思いました。」

「人員不足のために時間に追われる業務になってしまっていました。」

「人員不足を理由にはいけないとは思いますが、人の足りなさがやりたい看護ができない現状であるとも思いました。」

との 意見でした。

せつかくのふりかえりのきっかけとなった講義を無駄にしないよう心に留めて看護したいと思います。